

# 議会に一言

・湯沢町と言うパイの上では、過剰供給された部分が、地域経済を圧迫し、需要と供給のバランスが、他に比べ大きく崩れているのではと考えます。

企業誘致やインバウンド事業といった、広い範囲の事業、もつと積極的に活動し、需要拡大に務める必要があるのではないかと考えます。

又、湯沢町の為、将来・前進・躍進・改善に全力で務めて頂きたいと考えます。

— 40代男性 —



・小・中一貫校建設は、湯沢町の政策決定における象徴的な手法で進められ、「どうせ何を言っても無駄」という「町民の諦め気運」を招いた。今後、地方議会の役割が機能することを期待する。

— 50代男性 —



## 平成23年9月 定例会一般質問

角谷 勉  
議員の質問

追跡  
レポート  
[第4回]

「あの質問はどいつだった?」

これまでの質疑の中から一部を取り上げ、その後の経過を追跡してみました。

観光立町として、トイレ整備に重点を。

「ますますどまり」の仮設トイレを水洗トイレに

**問** 平成23年8月13日の利用人数をカウントした結果、11時から14時までの3時間で、仮設トイレ2個の利用人数が227名だった。

平均、仮設トイレ1個で約110名の利用となり、時々10名前後、男女の区別なく並んでいた。

また、11時から14時の3時間、一度の清掃もなく、不衛生極まりない状態であった。観光地におけるトイレの位置づけは、お客様をお迎えする姿勢の表れであり、観光立町、湯沢としてはすぐにも常設の水洗トイレに改善すべきと考え、町長の見解はいかに。

### 答え

**答** 観光客が自然を楽しむために、湯沢を訪れており、観光地におけるトイレは大変重要とも考えている。投資対効果を考えれば、現状が現実的と考えるが、逆に人気不落ちないよう湯沢の川遊びスポットのあり方を総合的に検討して対応する。

### 結果

今年度より仮設2ヶ所を3ヶ所に増設、女性専用を1ヶ所とする。